

丹沢:葛葉川本谷 (沢登り)

- ◆日程 2019年4月20日(土)
- ◆メンバー L: 佐藤(俊)、前田、今
- ◆天候 曇り後晴れ

3月30日のヒゴノ沢の沢登り山行に続き、「葛葉川本谷」沢登り山行に参加した。

当日の出発時の横浜は快晴で、予報では17度まで気温が上がるとのこと、楽しみに待ち合わせ場所である秦野駅南口に向かう。しかし、秦野駅に向かうにつれ徐々に天候が悪化してきて、寒くなっていく。前回のヒゴノ沢はととても寒かったので、何とか回復してくれることを祈りつつ、佐藤さんの車で入渓口の「葛葉の泉」に向かう。



駐車場には1台駐車しているだけでスナリと駐車でき、準備に取り掛かり、入渓する。依然としてどんより曇っていて、寒い。確かに寒いですが、季節は確実に進んでいて、新緑が目眩しく、ところどころに山桜の美しいピンクが映えてとても清々しい。沢も水量豊かで、いくつもの小滝を見せてくれる。前回のようには堰堤もなく、自然一色。夢中に乗り越えていくうちに、すっかり寒さも感じなくなり、空も明るくなってきた。気持ちも上がって、ずんずん進む。

核心部の大きな滝では、前田さんにビレイいただき、水を浴びながらよじ登る。が、「ふっ」と視界が飛んで、気が付いたら見事にぶら下がっていた。

この感覚、子供の頃に崖やら鉄棒やらで味わった以来の不思議な感覚。前田さんにも「見事な落ちっぷり」とお褒め？の言葉をいただいたが、沢の難しさや怖さが少しだけわかった気がした出来事だった。

その後、更に詰め上げて行き、三ノ塔尾根の登山道に合流する。踏み後も少なく、若干手間取ったが合流し、三ノ塔避難小屋へ到着。

一般登山者から少し奇異な目で見られながら、びしょ濡れの服を着替えて、お昼ご飯と休憩をとる。帰りは二ノ塔尾根を下りて、下山することに。「葛葉の泉」に到着し、無事に下山を果たす。せっかくの名水なので、泉の水をいただいて帰る。コーヒーと水割りで試してみたが、やっぱり格別な・・・気がした。「気のせい・・・」と聞こえてきそうだが、是非、お試しいただきたいと思う。それにしても「落ちる」というのは呆気ないもの・・・と改めて気づいて、最近ご無沙汰しているクライミングジム通いを再開しようと決意した次第だ。

(記: 今 敬広)



CT: 秦野駅南口 8:00 - 葛葉の泉 8:30 - 入渓 8:55 - 三ノ塔避難小屋 12:50 - 葛葉の泉 14:50